

2021

神奈川県私立幼稚園連合会

キャリアアップ研修

「リーダーシップとチームマネジメント」

担当講師：雑賀 竜一（さいか りゅういち）

株式会社クロスライフパートナーズ

2021/03/03



第1章 【チーム理論】

1. 組織・チーム構造の基本を理解する

～チームマネジメントをする上での基本知識～

(1) 4つのじんざい

(2) 2:6:2の法則

(3) 責任と主体性・自由度の関係 …… キャリア別の役割認識

2. 成長するためのチームカルチャー(園風)づくり

～成功する人・チームには成功する性格・カルチャーがある～

(成功の3条件)

① ()

② ()

③ ()

世の中の成功者や成長著しい人物は、上記の3つの条件を同時に兼ね備えている人物のようです。皆さんはいかがでしょう？

「自分の考えに気をつけよう。それは言葉になる。」
 「自分の言葉に気をつけよう。それは行動になる。」
 「自分の行動に気をつけよう。それは習慣になる。」
 「自分の習慣に気をつけよう。それは人格になる。」
 「自分の人格に気をつけよう。それは運命になる。」

ーフランク・アウトロー (米国の実業家)

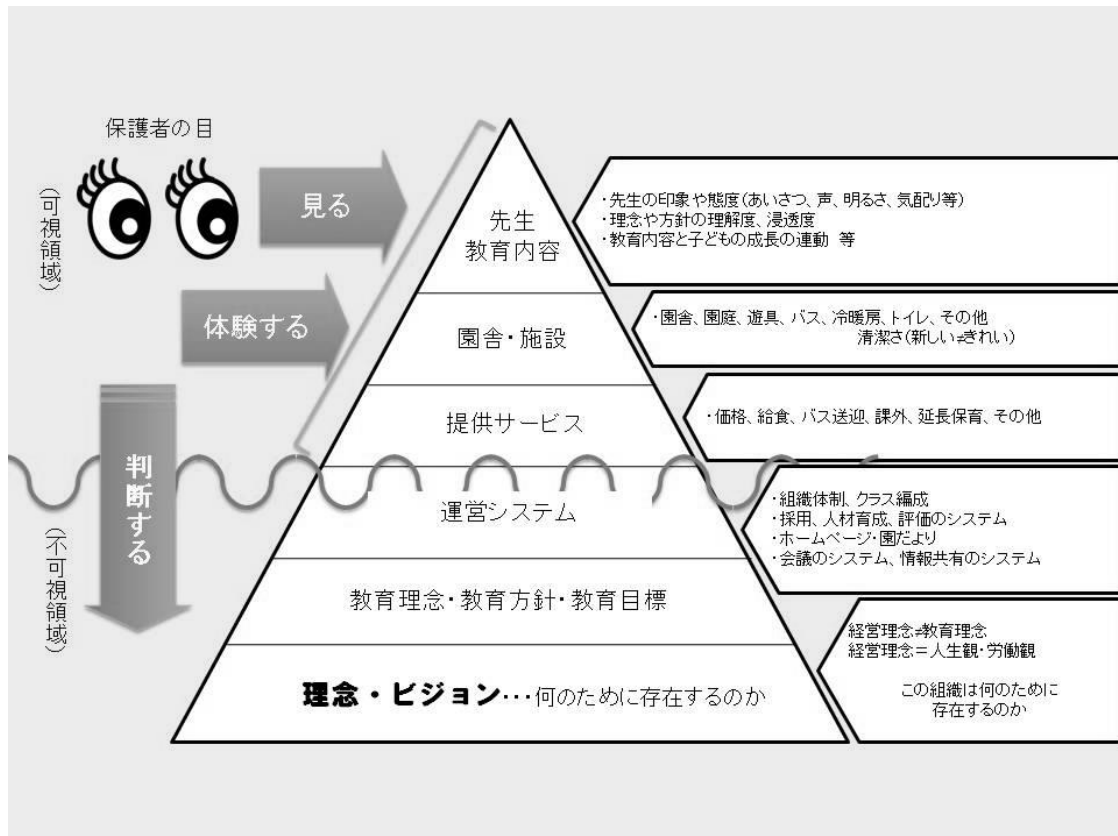


人間は能力によって成功するのではなく、性格によって成功する！！

3. 大切なことはカタチにしなければ伝わらない(組織内での役割を理解する)

～思いをカタチにするビジョンマネジメントの重要性～

下図は「**冰山理論**」と言うもので、園がまわりの人達や保護者からどのように見られているかを説明している図になります。



ここで一番お伝えしたいのは、**保護者は見える部分(先生、園舎、施設等)を通じて、その園の本質を見抜こうとしている**ということです。ここで言う園の本質とは、園の理念やビジョンや教育・保育方針のことを指します。つまり園長先生が何を大切にしているのか、どのような園を目指しているのかということです。しかし、この内容を直接確認できる機会がないので、現場の見えるところを通じて判断するしかないのです。ですから、**園で大切にしていることが、現場でもしっかり行動として表現されているかが重要**なのです。

園の先生一人ひとりの行動を通じて、保護者や地域の人々はその園の考え方を判断します。

園を代表する職員・スタッフとしての自覚を持って行動することが求められます！！

園の理念、方針を知っていますか？理解していますか？

その理念や方針に基づいて現場で、それを表現するのがあなたの仕事です！！

園長先生がどんな園を目指しているのかを理解していますか？

【個人ワーク】

★あなたの園が一番大切にしていること(理念・ビジョン・方針等)は何ですか？

【チームで共有しましょう】

モデル事例①:ディズニーランドが大切にしている「4つのキーファクター」

SAFETY・・・安全: 自ら行動して積極的にゲストの安全を優先する。やすらぎの提供

COURTESY・・・礼儀正しさ: 相手の立場に立ったフレンドリーなおもてなし

SHOW・・・ショー(演出): パーク全体が劇場であり、目に見えるものがすべてショーである

EFFICIENCY・・・効率: 待ち時間の短縮化(SCSの後にEがあることを認識する)

このような**徹底した理念教育を大切にし、その理念をスタッフが毎日行動で表現し続けているからこそ、あのような絶対的な人気を何十年も継続できている**のです。

■ディズニーランドに学ぶ 毎日感動が生まれる空間の創り方

【人を感動させる手法は2つしかない】

- ① 人間が担当する…「 」
- ② モノが担当する…「 」

【ディズニーランドが提供している商品とは何なのか？】

「 」の提供

それは、瞬間的に感じるものであり、与えるものである。

感じる人によってそれぞれの受け取り方が違うので、**相手の立場に立った行動**をするために**相手を常に観察(オブザバート)**していなければそれを実現することは不可能となる

(スタディーポイント)

- ★ 守り抜くポリシーへの非妥協の精神と徹底度合
- ★ 「It takes people」=「夢を現実のものとするのは人である」
- ★ 「Guests Happiness is my Happiness」
=「ゲストの感動は、キャストの歓働である」
(BY ウォルト・ディズニー)

モデル事例②:ある若くて優秀なリーダーのお話から学べること ～チームづくり・マネジメントとは何か??～

(スタディーポイント)

- ★ チームメンバーと組織のビジョン、そして価値観(仕事観)を共有すること
- ★ できる限り自分が業務オペレーションに入らなくても品質が下がらないチームをつくること

第2章 【仕事力を高める】

1. 仕事力が高まるプロセス ～成長するために日々意識してほしいこと～

- ①成長曲線 ～努力した時間とあなたの成長は正比例しない～

- ②この世で最も効率的な勉強法＝『』

- ③PDCA サイクルの体得と習慣化 ～継続的進化をしていく～

- ④完璧グセをつける ～些事に神が宿る～

- ⑤石の目を見抜く ～あらゆる仕事にはコツとポイントがある～

- ⑥Give and Be Given の法則 ～与えるものが与えられる～

2. 仕事力を高めるためのポイントを理解する

- ①優先順位の意識(タイムマネジメント能力 緊急性と重要性)

- ②段取り力とシミュレーション能力(ゴールまでのプロセスを明確にしてからスタート)

- ③前始末の法則(悲観的に準備して楽観的に行動する)

- ④1.2倍の法則(メイクベターの精神 毎日小さなチャレンジをする)

- ⑤思い込みの打破(多面的な視点でモノゴトを考えるクセをつけよう)

- ⑥守・破・離(学ぶは真似るから!! そしてオリジナルに)

- ⑦問題対処と問題解決の大違い(対処に振り回されている人は一生振り回される)

- ⑧インプットとアウトプットの関係(何も無いところからは何も生まれない)

第3章 【コミュニケーション力を高める】

1. セルフコミュニケーション力(セルフイメージの力をアップする)

- ①言葉のパワー
- ②スイッチングパワー
- ③ハッピーパワー(幸福度)
- ④目標のパワー

2. 対人コミュニケーション力をアップする

- ①思いやりとリアクションの関係 ～愛の反対は憎しみではなく()～
- ②語るも大切だが()ほうがもっと大切
- ③()上手な人が話しやすい人
- ④()から生まれた教養は人を動かす力になる

3. チームコミュニケーション力をアップする ～チーム力はコミュニケーションがベース～

- ①オープンマインドへの関係づくり(通りがかりの一言、インフォーマルコミュニケーション)
- ②ポジティブメッセージ○ ネガティブメッセージ×(組織風土はあなたが作っている)
- ③感謝心は人と人のジョインター(感謝の気持ちはカタチにしないと伝わらない)
- ④指示は命令ではなく説明で!!(必要性とメリットを伝えていますか?)
- ⑤話す順番はマクロからミクロが基本(結論から詳細へ、大中小の法則)
- ⑥情報翻訳能力(伝えたことが伝わったことは都合の良い自己満足)
- ⑦ゴールを共有することからスタート(理想的な状態は? 私たちは何を指すの?)
- ⑧自分のニーズと相手のニーズの違いを意識する(人間の根源的ニーズの違い)
- ⑨対話力が人間関係を決める(違いを認める、すり合わせ、歩み寄り、調整力)

4. リーダーがチームに提供していく大切な要素とは何か??

- ① 成功 & 成長促進のコツを伝授する ～成功の3条件～
- ② 基準を学び、基準を教える
- ③ 追求度と徹底度 ～リーダーがあきらめたらそこで終わり～

★最後にお伝えしたいこと

子どもにとっての憧れが身近にいる大人や親や先生であれば、その子は健全に正しく育つだろう・・・しかし、今の世の中はどうだろう？子どもにとっての憧れはどんなカタチだろう？大人の役割について考えてみよう。子ども達に苦しみや大変さの向こう側にある喜びや達成感を年相応に体感させてあげること。それこそ私たち大人が担う役割だと思う。

その体感を通じて子ども達は自分を信じる力、困難に立ち向かう勇気を身につけていくのです。それはその子がこれから生きていく人生においてとても重要な力と言えるでしょう。それは頭で理解させるレベルではなく、その要素を本当に体感させて、カラダに染み込ませなければならないのです。

人生で夢や喜びや輝きを獲得するためには、苦しみや困難を乗り越えなければならない。その絶対的なルールをカラダに染み込ませなければならないのです。それが生きる力の原動力になるからです。

それを教えられるのが、子どもにとって憧れの存在だと思います。尊敬される大人が尊敬される子どもの未来を創るのでしょうか。

★今回お伝えしたメッセージなど、日々私の想いや気づきや体験したことからの学び、研修や勉強会の開催情報を弊社公式ブログにて日々発信しております。ご興味ある方は気軽にご覧ください。

検索 ⇒ **「HAPPY MIND CREATOR」** **「雑賀竜一ブログ」**